

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

温泉施設におけるヒートポンプ導入  
による CO2 削減事業

排出削減事業者名：株式会社 M&B

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：富山リース株式会社

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	株式会社 M&B
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	湯めぐごち
住所	〒930-0285 富山県中新川郡舟橋村古海老江 256-1
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	富山リース株式会社

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

温泉施設におけるヒートポンプの導入によるCO2削減事業（重油→電気）

### 2.2 排出削減事業の目的

本事業は、温泉施設の給湯の熱供給源にヒートポンプを導入することにより、既存の A 重油焚きボイラーの化石燃料使用量の低減を図り、二酸化炭素削減するものである。

（ただし A 重油焚きボイラーも補完的に使用する）

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

給湯の熱源供給源を既存のボイラー2台（昭和鉄工 A 重油焚きボイラー NEOS-T-6500HA）から高効率なエコキュート14台（日本サーモエナー エコキュート GEC-03S）へ更新することでエネルギー使用量を削減してCO2削減を図る。また A 重油よりも単位発熱量当たりの炭素含有量が少ない電気へ燃料転換することによりCO2削減を図る。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

変更なし

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2013年2月2日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2015年4月1日 ～ 2018年2月1日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
002	ヒートポンプの導入による熱源設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

#### 4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、温泉施設「湯めぐごち」に導入するヒートポンプ設備及びヒートポンプから温水の供給を受ける設備である。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更あ る場合、) 変更理由
ELPJ	事業実施後の電力使用量	kWh/年	696,966.4	毎月ヒートポンプ専用計器から電力使用量を記録し保管する	無し
$\epsilon$ BL	事業実施前のボイラーのエネルギー消費効率	%	85.5	カタログ値をもとに算定	無し
$\epsilon$ PJ	事業実施後のヒートポンプのエネルギー消費効率	%	410	カタログ値をもとに算定	無し
CO <sub>2</sub> F <sub>fuel, BL</sub>	事業実施前の燃料の単位発熱量当たりの二酸化炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /GJ	0.0708	デフォルト値に変更がないか確認する	無し
CO <sub>2</sub> F <sub>electricity, t</sub>	電力の二酸化炭素排出係数	tCO <sub>2</sub> /kWh	平成 27 年度 0.000531 平成 28 年度 0.000516 平成 29 年度 0.000516	J-クレジット制度モニタリング・算定規程 Ver. 3.2 (H30/7/18) 平成 29 年度の実績値も 28 年度の値(0.000516)を用いる。	無し

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

H27	249,532.3(kWh)	—	0.000531 (tCO2/kWh)	132.5 (tCO2)
H28	251,906.1 (kWh)	—	0.000516 (tCO2/kWh)	130.0 (tCO2)
H29	195,528.0 (kWh)	—	0.000516 (tCO2/kWh)	100.9 (tCO2)
合計	696,966.4 (kWh)			363.4 (tCO2)
EM <sub>PJ</sub>				363.4 (tCO2)

### 6.2 ベースライン排出量

	12,031.8 (GJ)		0.0708 (tCO2/GJ)	851.9 (tCO2)
EM <sub>BL</sub>				851.9 (tCO2)

### 6.3 リークージ排出量

LE				0 (tCO2)

### 6.4 温室効果ガス排出削減量

ベースライン排出量	(7.2)	EM <sub>BL</sub>	851.9 (tCO2)
事業実施後排出量	(7.1)	EM <sub>PJ</sub>	363.4 (tCO2)
リークージ排出量	(7.3)	LE	0 (tCO2)
温室効果ガス排出削減量		ER	488 (tCO2)

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)
310.4	179.3	131.1

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。省エネルギー量=310.4-179.3 =131.1 (kl)

## 9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2015年4月1日 ~ 2018年2月1日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			